

一般質問



湖南市活性化



みらいの風 ● 望月 卓 議員

ウツクシマツ周辺整備について

問 本年度を「ウツクシマツ再生元年」と受け止め、マツ材線虫病対策としての防除や下草刈り、補植などの保全対策の強化に取り組めます。また、「地域資源の活用」や「地域経済活性化」等について、多角的な視点からの議論、検討を今年度設立予定の（仮称）平松のウツクシマツ自生地保全活用協議会」で行う予定です。更に、多くの市民の皆様の、協力と理解をいただきながら、育成へ長期的な視野に立ち、ウツクシマツ自生地周辺を守り、育てていきます。

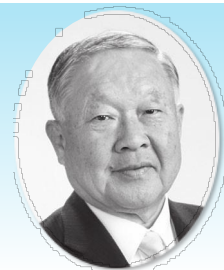
ものづくりへの取り組みについて

答 「湖南市産業振興ビジョン」に基づき、新たな企業の進出や既存企業の拡大定着に、工場立地法の緩和やインフラ整備に努めると

ともに市内企業に向け、企業間の人材交流支援や海外へ展開される事業など、現存企業の成長に必要な支援を推進し、地域特性を生かした「湖南市型産業モデル」創出に努めます。更に、市内企業への就労を希望する新卒者や若年求職者への就労支援、並びに市内企業への雇用支援を強く推進していきます。

職員の「身体と心の健康管理」は

答 複雑かつ困難な業務への不安や負担から心身の不調を訴え休職する職員へのケアに、試し出勤の実施や主治医・産業医との面談などを行い、無理のない職場復帰実現に努めるなど、職員の健康維持が滞りない業務遂行に不可欠であり、今後も心身の不調に対する早期発見・早期対応に努めていきます。



コミュニティ・スクール制度について



無所属の会 市民の力 ● 松原 栄樹 議員

問 地域と学校が連携して子どもを育てるコミュニティ・スクール（学校運営協議会）制度を、今年度から甲西中学校区（2小学校・1中学校）でも取り組まれています。今後の活動は。

答 学校運営協議会は保護者代表や地域住民などが学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める制度です。ここ近年は子どもたちが地域行事等に参加することが増えました。学校づくり・まちづくりへの取り組みの中で、より地域に密着して子どもたちのふるさと意識が醸成され、20年・30年後の地



学校運営協議会
学校運営への必要な支援に関する協議

域の担い手として、活躍してくれる人材育成をめざします。

所有者不明土地について

問 湖南市でも所有者不明土地がますます拡大しています。今回、国で相続登記の義務化の法案が成立しました。市としての対応は。

答 この法律は所有者不明土地の「発生の予防」の観点から不動産登記法を改正し、土地や建物の相続を知った日から3年以内に登記するよう義務づけられたものです。手続きも簡素化され、管理が難しい土地は手放して国庫に納められる制度を新設するという内容です。公共性が不可欠な土地などには積極的に解決に関わっていきます。